

経営会議の内容

件 名	女子サッカーを中心とした地域スポーツの振興について
所 管 部	文化スポーツ部
日時・場所	平成24年2月16日（木） 9：50～10：35 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、スポーツ課長
提 出 理 由	女子サッカーを中心とした地域スポーツの振興を図るにあたり、今後の事業展開や推進体制について、府内合意を得る必要があるため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のスポーツ団体を地域に位置づけるとはどういうことか。 (所管部) 地域に開かれた活動を行う。本市においては、女子サッカーを主な活動内容とした団体を、将来的には複数種目を活動内容とする、総合型地域スポーツクラブに発展させ、地域に根付かせていきたい。 ・法人化は、地域スポーツクラブ設立のための要件か。 (所管部) 要件ではないが、活動するうえでは法人化が望ましい。 ・他市のスポーツクラブの例を見ると、経営基盤がしっかりした団体があるが、そうでない団体の維持はどのようにするのか。 (所管部) 本市においては、経営基盤がなくてもすでに歴史ある団体がある。現在策定中の（仮称）大和市スポーツ推進計画などで、位置づけながら、サポートしていく。 ・当面は女子サッカーを中心としながら、スポーツの振興を図り、その後、他種目に発展していくということか。 (所管部) そのとおり。 ・これまで開催したなでしこリーグの試合の観客動員数はどれくらいか。 (所管部) 平成21年度1,550名、平成22年度1,200名、平成23年度1,845名の実績である。 ・練習場を民間から借りるとはどういうことか。 (所管部) 何箇所か練習場を持っている企業があるので、協力を呼びかけ、借用のお願いをする。 ・練習場などのハード面の整備だけではなく、イメージの仕掛けづくりなど、ソフト面での整備も必要だと考える。 ・なでしこジャパンの活躍の中、機運を捉えている。子どもたちにとっても良いことである。保護者の助けなど人的支援も重要だ。 ・周知の意味においても、女子サッカーのまちとしてのランドマークがなにがあつた方が良い。 ・トップ選手を育てていくための仕組みづくりをしなくてはならない。その中では指導者の育成が最も重要な課題であると思う。 ・中学生がポイントである。教育面からのサポートも重要である。
会議結果	案のとおり、進めていく。